

流しそうめん、おいしいね

柏市増尾の神社「廣幡八幡

宮」近くの竹林で20日、自然の中でそうめんを味わう「柏♡スーパードリ」流しそうめん祭り」が開かれた。来場した地元住民ら約600人が、長さ約30センチの樋(とい)を流れるそうめんを楽しそうにすくい上げ、ひんやり冷たいのどごしを楽しんだ。

増尾地区に本社を置く建設業「クリエテック建設」(鈴木一功社長)が主催。子どもたちに夏休みの思い出をつくってもらうとともに、地域住民の交流の場として役

柏、竹林で600人が舌鼓

立てようと、昨夏から実施している。

そうめんは約6・5キロ用意。ゆでたての麺が流れ始めると、樋を囲み待ち構えていた来場客は「来た!」「速い!」と歓声を上げながら次々にすくい上げ、舌鼓を打った。同時にミニトマトなど野菜も流され、子どもたちが夢中で箸を伸ばした。

昨年に続き参加したという柏市立豊小学校2年の鈴木瑛翔君(7)は「上手にすくえたので楽しかった。おいしかった」と満足そうに話した。



地元の子どもら約600人が来場し、ひんやり冷たいそうめんを舌鼓を打った=20日、柏市増尾

習志野 親子ら夏の味覚満喫

習志野市実籾地区の水田近くで、里山を守る活動に取り組む「ほたる野を守るNORAの会」(蔭山盛久会長)の恒例イベント、流しそうめんが行われ、涼を感じる夏の味覚を親子連れらが満喫した。

稲穂に囲まれた一面に、同会メンバーが竹林から切り出し節を取り除いた竹を設置。おわんと箸を持った参加者が両わきに陣取ると、そうめんが次々と流され子ども達がすくい上げ味わった=写真。時折、流れてくるミニトマトを上手につかむ男児もいた。

同市の主婦、矢野紗代子さん(35)は「市内で水田を見ることができるといいイベント」と語り、そうめん好きの長男太一君(4)らと楽しんだ。



蔭山会長は「夏休みなので自然に触れてもらいたい」と話した。そうめんは20キロ用意したという。